

2022 年度後期東京藝術大学「海外留学支援奨学金」募集要項

【本奨学金の趣旨】

本学において既に一定期間以上にわたり学業・技芸を磨き秀でた成績を収め、指導教員より優れた人物として推薦された、自身の専門領域について更に見識を広げ研鑽を積むために海外留学を志し、その為の計画・準備等を着実に進めている者に対し、渡航先における充実した学修および国際舞台での意欲的な活動を経済的に支援する。

【申請資格】

- ・ 下記の要件をすべて満たす者
 1. 申請時点で東京藝術大学の正規課程に半年以上在籍しており、一つ以上の履修済科目について成績評価が付与されている者（但し、過去に本学の正規課程のいずれかを卒業・修了している者は、申請時に所属している課程での在籍期間が半年に満たなくても可）。
※海外留学に向けた準備等の為に休学している者の申請も可。
※正規課程に在籍していても、申請時点で退学を予定している場合は申請不可。
 2. 学業・技芸・人物ともに優秀であり、指導教員に推薦された者
 3. 原則として、指定期間内に 90 日以上の海外留学を開始する者（申請時点で海外大学等への入学が確定している必要はない）。
※既に進学準備のため渡航しており、指定期間内に留学先において正規課程へ進学する者の申請も可とする。
※留学先機関の 1 セメスターが 90 日未満の場合、当該日数をもって 1 セメスターとする根拠を記した文書を提出する者については申請可とする。
※留学先機関が教育機関ではない場合は、留学期間が 90 日以上であり、且つ留学先機関における活動内容が「自身の専門領域について更に見識を広げ研鑽を積む」ための活動であることを示すことができる場合のみ申請可とする。
 4. 申請時点で留学先国・地域の公用語または英語について、別表に定める語学力検定試験を受験し、要件を満たす結果であることを証明できる者（入学前に実施された語学資格等に係る外部検定試験で取得したスコア・資格についての 証明書は、いかなる場合も申請要件を満たす書類として認めない）。
 5. 過去に本奨学金の給付を受けたことがない者
 6. 日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者
 7. 渡航前に提出すべき書類を確認し、所属する部・科の事務担当者へ提出可能な者。
提出書類一式：https://global.geidai.ac.jp/inter_program/study_abroad/safety/#tsl

（重要）※申請を検討するにあたりよくお読み下さい。

- ・ 留学したい地域の感染症危険情報・危険情報レベルは、外務省安全情報ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) で確認してください。現在、世界の全ての地域の感染症危険情報レベルが「レベル 1」となっています(2022 年 11 月現在)。

- ・ 東京藝術大学の海外派遣に関する基本的な方針として、外務省が発出する海外安全情報の危険・感染症危険情報レベル「レベル2」以上の地域には、学生を派遣しません。採択された方は、留学先地域の危険・感染症危険情報が「レベル1」又は「レベル0」となってから日本を出発してください。ただし、大学の指針により一定条件を満たした場合に特例的に渡航が認められる場合は、その限りではありません。
- ・ 採択後、申請書上の留学開始日2か月前の時点で、留学先地域の危険・感染症危険情報が「レベル1」又は「レベル0」となってない場合、国際企画課までご連絡ください。指定期間内に支援要件を満たす留学を開始できない場合は、採択が取り消される場合があります。
- ・ 留学先への渡航日を確認するため、パスポートのスタンプページとフライトチケットの半券を写真に撮り国際企画課へメールで送ってください。
*自動化ゲートを通じた場合、パスポートのスタンプは省略されます。出入国手続時、各出入国審査場事務室の職員に、スタンプが必要な旨、申し出てください。

【申請等の日程】（全て日本標準時による）

[申請期間] 2022年12月1日（木）10:00~2023年1月16日（月）17:00

[対象とする留学開始日] 2023年1月16日（月）~2023年10月31日（火）の間

[審査結果の通知] 2023年3月末頃

【採択人数】

- ・ 最大2名

【金額】

- ・ 40万円 /名

※パスポートのスタンプ（日本出国及び留学先国入国）を確認の上、入金する。

【申請方法】

- ・ 申請書類(1)~(6)：[Google アンケートフォーム](#)で提出すること。
※指導教員による推薦書(様式2)、成績証明書、語学力証明書、留学先機関の発行した証明書については、スキャンしたPDF又は写真データ形式での提出を認める。
- ・ 自己PR動画は必ず国際企画課が指定する方法で申請期間内に[アップロード](#)すること。
- ・ 問合せ宛先 [intl-tua \(at\) ml.geidai.ac.jp](mailto:intl-tua@ml.geidai.ac.jp) (at は@に入れ替えて送信してください。)

【申請書類】

- (1) 2022年度東京藝術大学「海外留学支援奨学金」申請書(様式1)
- (2) 指導教員による推薦書(様式2)
- (3) 2022年度前期の成績証明書(該当期分の提出が困難である場合は、提出ができない理由を記した上で直近の成績証明書を提出する。)
- (4) 申請資格を満たす語学力証明書の写し
- (5) 各期の指定期間内に、90日以上海外留学を開始することを証明する書類(入学許可証等。留学先機関が複数ある場合は全ての機関について提出すること。)
海外大学等の入学試験前である場合など、申請時点で証明書類を提出することができない場合は、指定の期日までに追って提出すること。
留学先機関の1セメスターが90日未満の場合は、当該日数をもって1セメスターとする根拠を記した文書を併せて提出すること。
留学先機関が教育機関ではない場合は、留学先機関における活動内容が「自身の専門領域について更に見識を広げ研鑽を積む」ための活動であることを示す補足資料等を添付すること。
- (6) 3分以内の自己PR動画
面接審査の代わりとして、本申請に係る海外留学に向けた意欲・熱意・ビジョン等を示すスピーチを3分以内の動画ファイルに収めたもの(スライド資料に音声による説明等を付与したプレゼンテーション動画も可)を提出すること。(動画ファイルの形式は、一般的に再生可能なものにする)

【選考方法】

- ・ グローバルサポートセンター国際戦略委員会において、申請者の学業成績や海外留学の計画、自己PR動画に込められた熱意等を、本奨学金の趣旨に照らし合わせ総合的に勘案し、選考を行う。(但し必要に応じて面接審査を行う場合がある)

【採択者の義務】

- ・ 出入国日を示すスタンプ(日本出国及び留学先国入国の両方)が押されたパスポートのページ、およびフライトチケット半券の写しの提出
- ・ 海外留学終了後、所定の「留学報告書」の提出
様式：https://global.geidai.ac.jp/inter_program/study_abroad/q2/
- ・ 留学説明会や本学ウェブサイトにおける体験談の発表
(留学期間中に、現地での活動内容が分かる写真等を撮影・記録しておくこと)
- ・ 藝大を退学することになった場合(留学後、藝大に復学せずに退学する場合を含める)は、大学にすみやかに連絡すること。受給時点で退学を検討していたにもかかわらず、大学に相談せずに受給したなどの場合は、奨学金の返還を求めることがありうる。
- ・ 留学を90日未満で終了せざるを得ない場合には、すみやかに大学に報告すること。

【留意事項】

- ・ 申請書の記入漏れ等、内容に不備がある場合、申請を受理しないことがある。
- ・ 申請時点で各期の指定期間内に支援要件を満たす海外留学を開始することを証明する書類を提出していない者が本奨学金に採択された場合、当該証明書類の提出をもって正式な採択とする。原則として、申請書上の留学開始日の2か月前までに当該証明書類の提出がなければ、本奨学金の採択を取り消す（その場合、同じ採用期に他の申請者を繰り上げて採択することはしない）。
※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、決められた期限までの書類提出が難しいと判断される場合には、国際企画課へ相談すること。
- ・ 採択者の氏名、所属、学年等は本学ウェブサイト等へ公表することがある。
- ・ 当該海外留学に係る他の奨学金の受給を妨げないが、本奨学金の受給が他の奨学金の申請要件・受給要件に抵触する場合がありますため、自分が受給する奨学金の条件をよく確認すること。
- ・ 本奨学金の受給を前提とした海外留学計画を立てないこと。

【問い合わせ先】

東京藝術大学国際企画課

E-mail：intl-tua@ml.geidai.ac.jp

TEL：050-5525-2785、2768

2022 年度東京藝術大学「語学学習奨励奨学金」および「海外留学支援奨学金」の申請
要件とする言語・語学力検定試験および要件スコア・資格一覧

言語	語学力検定試験	要件スコア・資格	備考 (CEFR 水準)
英語	国際コミュニケーション英語能力テスト(TOEIC) ※2021年7月より、IP テストの結果も対象とする	800	B 2
	国際コミュニケーション英語能力テスト(TOEIC) S&W	330	
	TOEFL(iBT)	80	
	実用英語技能検定(英検)	準1級	
	IELTS	6.0	
	ケンブリッジ大学 ESOL 試験	ファースト(FCE)	
フランス語	フランス語学力資格試験(DELF) フランス語上級学力資格試験(DALF)	DELF B1	B 1
	フランス語能力テスト	B1	
	実用フランス語技能検定試験(仏検)	2級	
ドイツ語	ゲーテドイツ語検定試験	B1(ZD)	
	TestDaF	TDN3	
	ドイツ語技能検定試験(独検)	2級	
イタリア語	イタリア政府認定イタリア語検定試験(CILS)	UNO(B1)中級	
	ダンテ・アリギエーリ協会イタリア語検定	PLIDA B1	
	実用イタリア語検定(伊検)	準2級	
スペイン語	外国語としてのスペイン語検定試験	DELE B1	
	スペイン語技能検定(西検)	3級	
ポルトガル語	国際ポルトガル語検定試験	DEPLE(初級)	
	外国人のためのポルトガル語検定試験	Intermediário(中級)	
ロシア語	ロシア語検定試験(ТРКИ)	レベル1	
	ロシア語能力検定試験(露検)	2級	
中国語	漢語水平考試(HSK)	3級	
	華語文能力測検	TOCFL Level 3	
	中国語検定(中検)	2級	
朝鮮語	韓国語能力試験	4級	
	「ハングル」能力検定試験(ハン検)	準2級	

※この表に記載のない言語および語学力検定試験のスコア・成績等については、上記の各検定試験の要件スコア・資格の水準と照らし合わせ、要件を満たすかどうかを都度判断する。